2025年度　開講予定科目一覧

2025/4/4 現在

コース	講座	科目・概要	講師名	実施方法	定員	受講料	2025年度開講時期 第1期：5～9月（成績10月） 第2期：10～2月（成績3月）	備考
AI・データサイエンス	自律型AIシステム開発支援士（※1）	**安全運転支援・自動運転技術入門** 安全運転支援・自動運転を支える認知機能に関する基礎的な技術について理解を深める。	榎田修一	非同期型	なし	44,000	第1期（7月以降開講）及び第2期	
		画像認識技術総合演習 演習を通して、深層学習による画像認識に関する基礎的な技術の理解を深める。	榎田修一	非同期型 （一部同期あり）	なし	44,000	第1期（7月以降開講）及び第2期	
		三次元点群認識技術総合演習 演習を通して、深層学習による三次元点群認識に関する基礎的な技術の理解を深める。	榎田修一	非同期型 （一部同期あり）	なし	44,000	第1期（7月以降開講）及び第2期	
		深層強化学習総合演習 演習を通して、深層強化学習による行動獲得に関する基礎的な技術の理解を深める。	今川孝久	非同期型 （一部同期あり）	なし	44,000	第1期及び第2期	
	-	**基礎から学べるPythonプログラミング** Pythonの文法について学び、正規表現やクラスの概念を理解し、データ処理の基礎を修得する。	嶋田和孝	非同期型	10名	44,000	第1期及び第2期	
		自然言語処理と機械学習入門 Pythonで簡単な自然言語処理・機械学習のプログラムが書けるようになる。	嶋田和孝	非同期型	10名	44,000	第1期及び第2期	
		データサイエンス基礎 エクセルデータなどの比較的簡単な数値データに対してpythonによるデータの読み込み、前処理、機械学習モデルによる分析や結果に対する考察がある程度行えるようになることを目標とする。	宮野英次	非同期型	20名	44,000	第2期	
		LLM/生成AIのための深層学習	大北　剛	同期型	調整中	110,000	近日公開	
	-	**生成系AI入門** 実践式およびワークショップなどを通じて世の中のデジタルやAIに関する知見やプロンプトといったスキルを習得できる。	岡田義史（※2）	集合研修型 （対面）	20名	660,000/回	詳細はお問合せ下さい	
		DX入門Ⅰ－ユーザー目線からみるDX デザイン思考と呼ばれるユーザー中心のアプローチを用い、それぞれの団体のもつ広報ツール（HPなど）を材料として業務改善の方法について学ぶ。	安永卓生	集合研修型 （対面＋遠隔同期）	なし	440,000/回	詳細はお問合せ下さい	
		DX入門Ⅱ－問題解決とその方法 ＤＸを推進する際の思考・問題解決に関わるフレームワークを学び、実際に演習を行う。	安永卓生	集合研修型 （対面＋遠隔同期）	なし	440,000/回	詳細はお問合せ下さい	
		DX入門Ⅲ－データからみるためのスキル データ駆動型業務改善を行うためのデータの取り扱い方などについて学ぶ。pythonによるプログラムを利用して、情報を取り出す方法を学ぶ。	安永卓生	集合研修型 （対面＋遠隔同期）	なし	440,000/回	詳細はお問合せ下さい	
		高校情報Ⅰで学ぶDXの基礎Ⅰ－情報社会での問題解決 高校情報Ⅰを参考に、情報技術を利活用する現代社会に生じる問題への基礎的な知識とスキルを学ぶ。	安永卓生	非同期型	なし	44,000	第1期及び第2期	
		高校情報Ⅰで学ぶDXの基礎Ⅱ－コミュニケーションと情報デザイン 高校情報Ⅰを参考に、コンピュータが用いる情報及びシステムデザインに関わる基本的な知識とスキルを学ぶ。	安永卓生	非同期型	なし	44,000	第1期及び第2期	
		高校情報Ⅰで学ぶDXの基礎Ⅲ－コンピュータとプログラミング 高校情報Ⅰを参考に、コンピュータシステムの構造とプログラミングの基礎を学ぶ。	安永卓生	非同期型	なし	44,000	第1期及び第2期	
		高校情報Ⅰで学ぶDXの基礎Ⅳ－情報ネットワークとデータの活用 高校情報Ⅰを参考に、情報ネットワークの基本的な知識とデータの利活用方法に関する基礎的なスキルを学ぶ。	安永卓生	非同期型	なし	44,000	第1期及び第2期	

コース	講座	科目・概要	講師名	実施方法	定員	受講料	2025年度開講時期 第1期：5～9月（成績10月） 第2期：10～2月（成績3月）	備考
DX経営人材		**基礎から学ぶデザイン思考** デザイン思考（ユーザーを中心とした問題解決の手法）を中心として、DXリテラシー、ブランディングの関連する3科目について基礎的な知識を学ぶ。	長尾　徹（※2） 青木友希（※2） 岡本　陸（※2）	非同期型	なし	44,000	第2期	新規開講
		行政DXリテラシー入門 行政などの業務をＤＸする上で必要となる情報技術及び関連思考方法のリテラシーを学ぶことを通して、行政業務改善、情報セキュリティ、ソフトウェアの効率的な使い方を学ぶ。	安永卓生	非同期型	なし	44,000	第1期及び第2期	新規開講
		行政ＤＸ情報システム入門 行政DXに関わる情報システムを導入するための基礎となるリテラシー・知識・スキルを学ぶる。	安永卓生	非同期型	なし	44,000	第1期及び第2期	新規開講
		行政ＤＸ情報システム基礎ＷＳ 行政ＤＸを進めるための情報システムを発注する際に必要となる思考方法、データの取扱、及び設計書・要件定義・仕様書などの具体的な記載に関するワークショップを行う	安永卓生	集合研修型 （対面）	なし	440,000/回	詳細はお問合せ下さい	新規開講
		UI（ユーザインタフェース）入門 使いづらいアプリ、わかりづらいWeb、間違う操作…Bad UIに立ち向かうための具体的な知識・知恵・技術を学びます！	竹川佳成（※2）	非同期型	30名	44,000	第1期及び第2期	
		UX（ユーザエクスペリエンス）入門 課題を“見える形”にし、解決策に“納得感”を――合意形成を支えるUX、そのプロセスを加速する生成AIについて学びます！	竹川佳成（※2）	非同期型	30名程度	44,000	第2期	新規開講
		UI/UX基礎（仮称）	竹川佳成（※2）			44,000	2026年度開講予定	
		企業経営システム入門　（旧ERP入門） 企業経営における経営情報システムの役割、ERPシステムの基礎、およびERPシステムの構成と機能について修得する。	木村有寿（※2）	非同期型	30名	44,000	第1期及び第2期	
		企業経営システム実践 企業におけるDX実現の基盤として、経営システムとその中心となるERPシステムが重要であり、本講座ではＤＸ実現におけるERPシステムの役割とその具体的な機能、その構造や仕組み、更に導入方法を含めて修得する。	神坂　浩（※2） 白井　泰（※2）	非同期型	30名程度	44,000	第2期	新規開講
		エンタープライズアーキテクチャ演習 企業の経営戦略とDX戦略を統合し、持続的な成長を実現するための手法として注目されるエンタープライズアーキテクチャ。本講座では、EAの基本概念から実践的な活用方法まで学び、実際の企業事例をもとにしたワークショップで実践力を修得する。	白井　泰（※2）	遠隔同期 予定	10名程度	110,000	第2期　後半	新規開講

コース	講座	科目・概要	講師名	実施方法	定員	受講料	2025年度開講時期 第1期：5～9月（成績10月） 第2期：10～2月（成績3月）	備考
高度ソフトウェアエンジニア	応用ソフトウェア開発支援士（※1）	**ソフトウェアプロセスに基づく自己マネジメント：入門編** 期限や予算を守りつつ高品質なソフトウェアを開発するための、規模と時間の見積もり、計画の立案と追跡、品質改善の考え方を理解する。	梅田政信	講義・演習：非同期型 質問：同期型	20名	44,000	第2期	
		IoT時代の組込みプログラミング MPUボードを用いたシステム開発ができ、オブジェクト指向と実時間システムに基づいた手法で、ネットワーク上の連携を実現できる。	小林史典 （名誉教授）	非同期型	30名	44,000	第1期及び第2期	
		基礎から学べるCプログラミング C言語を用いてプログラミングの概念を学びつつ、データ構造とアルゴリズムやオブジェクト指向に繋がる基礎を学ぶ。	嶋田和孝	非同期型	10名	44,000	第1期及び第2期	
		基礎から学べるPythonプログラミング Pythonの文法について学び、正規表現やクラスの概念を理解し、データ処理の基礎を学ぶ。	嶋田和孝	非同期型	10名	44,000	第1期及び第2期	
		実践演習・APIを活用したソフトウェア設計 ソフトウェア開発では、 APIを活用して機能を改良することや開発工数の削減は頻繁に行われており、APIを利用する演習は実践的であり就業後に即役立つため。	山内　修（※2）	非同期型	30名	44,000	第1期及び第2期	
		データ変換が直接表現できるElixir言語で学ぶIoT応用 Elixirを題材に関数型言語によるプログラミングを理解し、IoT開発への応用ができる。	山内　修（※2）	非同期型	30名	44,000	第1期及び第2期	
		ウェブサイトの構築を通じて学ぶクラウド基礎 ソフトウェアの開発、ローンチにおいて必須の技能となっているクラウドの基礎を修得する。	山内　修（※2）	非同期型	30名	44,000	第1期及び第2期	
		基礎から学べるスマートコントラクト開発 Solidity言語を用いたスマートコントラクトを作成し、ブロックチェーンを利用したアプリケーションが作成できるようになる。	中城元臣（※2）	非同期型	30名	44,000	第1期及び第2期	
	情報教育支援士・情報基盤整備支援士（※1）	**情報リテラシー** コンピューターを扱う基本的な技術とコンピューターに関する基本的な知識を修得する。	山口真之介	非同期型	30名	44,000	第1期及び第2期 ただし、過去の受講者は、15,400円とする。	
		プログラミング入門 プログラミングの初歩を学び、続いてプログラミング言語Cを用いて基礎を学び、コンピューターによる問題解決の手段を修得する。	中茎　隆	非同期型	なし	44,000	第1期及び第2期 ただし、過去の受講者は、15,400円とする。	
		情報ネットワーク ネットワーク工学の基本を、毎日使うウェブやメールの仕組みから、トラブル時に役立つ知識まで、広く修得する。	尾知　博 （名誉教授）	非同期型	15名	44,000	第1期及び第2期 ただし、過去の受講者は、15,400円とする。	
		データベース データベースの基礎概念からデータベースの設計法，データベースプログラミングまでを習得する。	田中和明	非同期型	30名	44,000	第1期及び第2期 ただし、過去の受講者は、15,400円とする。	
		計算機システム 計算機システムの基本構成、動作原理、機能およびその機能の実現方法等について解説する。	江本健斗	非同期型	なし	44,000	第2期 ただし、過去の受講者は、15,400円とする。	
		情報倫理 情報社会の光と影について、適切に適応できる知識や技術等、情報モラルのスキルと習得するための演習。	阿濱茂樹（※2）	非同期型	なし	44,000	第2期 ただし、過去の受講者は、15,400円とする。	
		情報社会と教育 情報社会における教育の変革や情報化について理解を深めるとともに、情報教育や教育の情報化におけるICT支援の内容や方法について扱う。	浅羽修丈（※2）	非同期型	40名	44,000	第1期及び第2期 ただし、過去の受講者は、15,400円とする。	
		情報教育の理論 小・中・高校における情報教育の目標や内容、実施状況を概説し、情報教育支援士の意義や仕事内容、仕事の実態等について、事例を示しながら具体的に解説する。	西野和典（名誉教授） 池田　勇（※2） 山﨑由美子（※2）	非同期型	なし	44,000	第1期及び第2期 ただし、過去の受講者は、15,400円とする。	
		情報教育の実践 小中学校でのプログラミング教育で使われるビジュアルプログラミング言語を習得する。	荒川　等	非同期型	20名	44,000	第1期及び第2期 ただし、過去の受講者は、15,400円とする。	

コース	講座	科目・概要	講師名	実施方法	定員	受講料	2025年度開講時期 第1期：5～9月（成績10月） 第2期：10～2月（成績3月）	備考
	PSP/TSP	**PSP/TSPの概要と導入効果** 個人やチームで期限や予算を守りつつ高品質なソフトウェアを開発するための合理的なマネジメント手法の概要を講義し、演習を通して規模と時間の見積もり、計画の立案と追跡、品質改善の手法の概要を修得する。本科目は主にマネジメント層を対象とする。	片峯恵一/梅田政信/日下部茂/荒木俊輔/他	対面	10名 開講条件:3名以上(2社以上)または5名以上(1社のみ)	110,000	下記の日時の中から2回実施予定 6/7、6/28、8/2、9/6、12/13	
		PSP 個人がプログラムを開発するためのソフトウェアプロセス(PSP)の基本的知識を講義し、演習を通してソフトウェア規模と開発時間の見積もり、計画立案と追跡、品質計画、品質測定、品質改善の手法を修得する。本科目は主にエンジニアを対象とする。	片峯恵一/梅田政信/日下部茂/荒木俊輔/他	対面＋同期型＋非同期型	10名以下 開講条件：4名以上）	660,000	第2期 対面及び遠隔同期の開講日未定	新規開講
		TSP チームでソフトウェアを開発するためのチームソフトウェアプロセスの基本的知識を講義し、演習を通して自立チームの構築、ソフトウェアの規模と時間の見積もり、プロジェクト計画の立案と遂行の追跡、品質管理と品質改善、プロジェクトメンバー間のコミュニケーションなどの手法を修得する。本科目は主にエンジニアを対象とする。	片峯恵一/梅田政信/日下部茂/荒木俊輔/他				2026年度　開講予定	
	-	**デジタル画像処理入門** 各種の業務で用いられている画像（静止画、動画）をデジタル化し、処理するための基礎となる知識と画像処理法のスキルを、演習を通して修得する。	安永卓生	非同期型	なし	44,000	第1期及び第2期	
専門人材特化型コース		**メカトロニクス** メカトロニクス機器の制御システムを設計するのに必要となる各種基礎知識を提示・説明し、知識の習得とその知識の運用能力を高めるための演習問題に取り組む。	本田英己	非同期型	なし	44,000	第1期及び第2期	新規開講
	サイバーセキュリティ	**CIS Controls概論と実装（演習）** CIS Controlsは、米国のセキュリティ非営利団体であるCISが、企業がサイバー攻撃対策として取り組むべきことをまとめた技術的基準のガイドラインである。規模・業種・業態を問わず、網羅性が高いセキュリティ標準を学ぶことで、自身の所属する組織におけるセキュリティ対策の見直しや優先順位の検討に役立つ。	瀬田陽介（※2）	非同期型 （一部同期あり）	なし	44,000	第1期及び第2期 ・第1期同期演習日（7/10、8/30） ・第2期同期演習日（11/26、1/28）	新規開講
		PCI DSSから学ぶサイバーセキュリティ クレジットカードなどカード情報保護対策の国際基準であるPCI DSSの概要と主要なセキュリティ要件について学ぶ。また、演習では、カード情報を取り扱うシステム上でのPCI DSS要件の実装方法を学ぶ。社会の重要インフラであるクレジットカード決済のセキュリティを守る基準や実装方法を理解することは、カード情報保護のためのシステム実装にとどまらず、さまざまなシステムのセキュリティ実装を設計するために役立つ。	瀬田陽介（※2）	非同期型 （一部同期あり）	なし	44,000	第1期及び第2期 ・第1期同期演習日（7/19、9/13） ・第2期同期演習日（12/11、2/4）	新規開講
		セキュリティインシデント実例に学ぶ再発防止策の考え方 国内で最近発生したサイバーセキュリティインシデントについて、講義と演習で学ぶ。講義では実際に発生したインシデントの概要と発生原因を解説する。演習では、事前対策・発見対策・事後対策のタイムラインに沿って、再発防止策をグループワークで検討する。本講座を受講することで、最近のセキュリティインシデントの事例について深く学び、効果的な再発防止策を講じることができるようになる。	瀬田陽介（※2）	非同期型 （一部同期あり）	なし	44,000	通年 同期演習日 （7/19、8/9、8/30、 10月以降近日公開）	新規開講

（※1）履修証明プログラムとしての実施を予定。（※2）外部講師